



12月23日 運営体制の見直しについての提案を受ける！

運営体制の見直しについて

変化する経営環境の中で、これまでの当たり前を超えるグループの持続的成長をステージアップするためには、グループ経営ビジョン「勇翔2034」の実現が不可欠である。

このため、効率的で生産性の高い業務執行体制の構築を目的として、以下の施策を実施する。

1. 業務執行体制の見直し

(1) 実施箇所

津田沼統括センター(津田沼駅)、茂原統括センター(大網駅)

(2) 実施日

2026年4月1日(水)

(3) 要員体制

		現行				改正				
		変形等	交代	乗務員		計	変形等	交代	乗務員	
				日勤	泊				日勤	泊
津田沼 統括センター	管理	11	7			18	11	7		
	一般	13	13	48	42	116	14	12	48	42
茂原 統括センター	管理	14	10			24	14	10		
	一般	13	17	32	49	111	12	17	32	49
										110

※ 業務の繁閑等に応じて1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する。

※ 上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

2. その他

必要な準備等は実施する。

«議論した特徴点»

(組合)今回の見直しは機械・券売機等を導入して、要員体制が減少となるものではないのか？

(会社)何か新たな機械等を導入するわけではない。作業ダイヤを見直し、効率的で生産性の高い業務執行体制の構築を目的としてしていく。

【津田沼駅】

- ・泊りの作業ダイヤを見直し一部業務を日勤へ見直す。作業ダイヤの内容については今後津田沼駅で検討。
- ・日勤の方が働きやすいとの声がある。
- ・CSPのホーム業務定着やこれまでの券売機導入などの積み重ねがあって今回の見直しに至っている。

【大網駅】

- ・作業ダイヤを見直し、4徹1日勤から4徹の出面数に見直す。
- ・現在の日勤はメインが巡回や締め切りの業務。今後現場長の判断で業務を振り分けていく。
- ・箇所の特状で日勤が良いという社員の声は少ない。

「安全・健康・ゆとり」ある職場をつくり出すため、
 全組合員で議論をつくり出し、要求案を練り上げよう！